

ポスターコンクール最優秀作品

令和元年9月13日に板橋区明るい選挙啓発ポスターコンクール審査会が開催されました。区内小・中学校34校から577点の応募があり、3点が最優秀賞に輝きました。たくさんのご応募ありがとうございました。このほか優秀作品は区ホームページでご覧いただけます。

【小学校低学年の部】



高安 紗希さん
(淑徳小学校) 3年

【小学校高学年の部】



河西 佳苗さん
(北前野小学校) 6年

【中学校の部】



根岸 葉音さん
(板橋第二中学校) 3年

明るく、選挙



編集後記

浅野 浩一 (清水地区)

改元後、最初に発行する「めいせん」43号の主題は啓発活動です。1面は、昨年7月の参議院議員選挙の際、東京エクセレンスによる街頭啓発の様子を掲載しました。2面は、近年の投票率の推移と板橋区で行った都立高島高校との協働プロジェクトを紹介しております。3面は、各地区で日々活動されている編集委員の皆さんの貴重な声を集約しました。4面は、恒例のポスターコンクールです。学童・生徒の皆さん、今年も沢山の素晴らしい作品をお待ちしております。

第43号 編集委員

編集長
浅野 浩一 (清水地区)

編集委員
上原 千栄子 (仲町地区)
正田 隆基 (富士見地区)
岡田 俊子 (志村坂上地区)
松澤 公子 (蓮根・舟渡地区)
島田 照代 (桜川地区)
塗師 義 (徳丸地区)

※「めいせん」について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

今号の見どころ

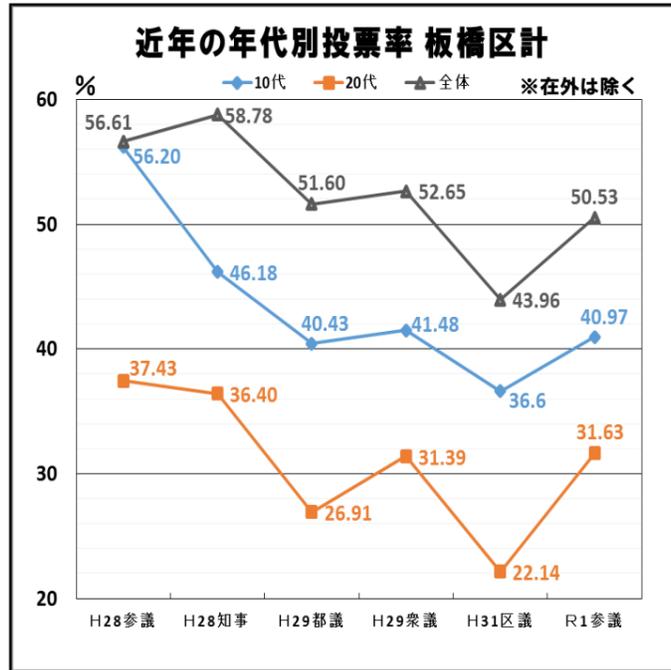
近年の投票率の推移
事例紹介 (啓発活動)
啓発活動について語っていただきました!!
ポスターコンクール

近年の投票率の推移

昨年4月の板橋区議会議員・区長選挙では、前回(H27)とほぼ同じ投票率でしたが、7月の参議院議員選挙は、前回(H28)が有権者の選挙権年齢が18歳に引き下げられた初めての選挙だったこともあり、全体として56%を超える投票率を記録しました。

しかし、今回は前回と比較し大きく落ち込みました。その要因は、**若年層(10代・20代)の投票率の低下**にあります。

今後は特に若年層の投票率の向上のための取り組みが必要になります。



事例紹介

啓発に新たな風吹き込む！！

都立高島高校協働プロジェクトとして、若年層向けリーフレットを作成しました。それをポケットティッシュに収納し、「今日は何の日?」と問いかけるスタイルに興味を持ってもらうアイデアにより啓発物資が完成しました。「CTW」Catch the Wafashitachinomirai(私たちの未来)を合言葉に、高校生が高島平駅で配布も行いました。

高島平 都立高島高校

フロバスケットボールチーム東京エクセレンスと協働制作した団扇を、選手の方々と一緒に配付しました。街頭啓発の際は、各種メディアの他、チームファンの方々もたくさん応援に来てくださり、現場は盛り上がりを見せておりました。また、団扇のサイズはあえて小さめのサイズにすることで、手に取ってもらいやすいものとなりました。

大山 東京エクセレンス

啓発活動について語っていただきました！！

「最初の一票」 仲町地区 上原 千栄子
戦前は一部のしか選挙権を持つ事が出来ませんでした。今は18歳になれば選挙に行き、投票する事が出来ます。でもなかなか投票率に反映されません。若者が選挙に関心を持ってもらうには、学校教育の中から選挙の大切さ重要性を学び一票につなげてゆく、これが一番の啓発だと思います。



「若者の投票率向上」 富士見地区 正田 隆基
いつも街頭啓発活動で感じることは、若者は、「投票参加の呼びかけ」、「啓発物資の配布」を避けて通り過ぎることが多々ある。選挙とは、選挙(投票)→政治家→政治・政策と自分自身の生活及び国の現在、将来に直接関係する重要、大切なことである。このことを学校教育を通して先生は教えて欲しいし、生徒は学んで欲しい。

「啓発活動」 志村坂上地区 岡田 俊子
今回の啓発活動は、淑徳高等学校の校門の前で行いました。校門から、出て来る生徒さんに、啓発用蛍光ペンを配りながら「選挙に行ってください」と声をかけました。なかなか立ち止まってくれなかったのですが「必ず行きます」「もう行ってきました」との声を聞き、とても嬉しく思いました。18歳から、選挙権を得たのですから、選挙の大切さを考え、そして政治に関心を持ち、一人でも多く、投票所に足を運んでください。お願いします。

「啓発が実った瞬間のよろこび」 桜川地区 島田 照代
ある夕暮れ時、啓発活動の中で、年の頃が高校卒業間もない位か、一人の若者にティッシュを手渡した。無表情の中に少し、ほにかみながらの受け取り、思わず「ありがとう」といつになく気分爽快だった。そして投票会場である若者を見つけ暑さも疲れも吹き飛び、目立たない活動ですが啓発活動の必要性を感じた瞬間でした。

「啓発活動は常に足元から」 徳丸地区 塗師 義
昨年の統一地方選挙後、大学生と話す機会があり、選挙や政治に関心が薄い様に思われました。若い皆さんにはもう少し地域社会の活動に自主的に参加し、政治をもっと身近に感じて欲しいと思います。若い皆さんが政治や選挙に興味を持ち、自らの清き一票を大切にしたいと願っています。



「未来のために」 蓮根・舟渡地区 松澤 公子
投票所へ足を運んで大切な一票を投じて欲しい！そんな気持ちで参加しました。若い人たちの意志こそが、これからの未来を作ると信じています。風穴を開けて、新しい風を吹き込むことができるのは有権者である私たちです。輝く未来への一票の清らかさや重要性をもっとお伝えたいです。